

1970年代

食の国際化

1970年

- 大阪万博

1971年

- カップラーメン、ファーストフードが登場

1974年

- コンビニが登場

1995年

- WTO協定が発効

1999年

- 食料・農業・農村基本法制定

食料の安定供給、農業の多面的機能の発揮、農業の持続的な発展、農村振興を基本理念に制定

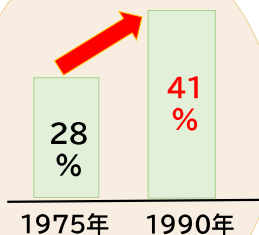
大阪万博のファミリーレストラン



写真：ロイヤルホールディングス株式会社提供

大阪万博をきっかけに、ファミリーレストランなどが一気に広がったんだ。この頃から外食が一般的になったんだよ。

外食化率



出典：日本フードサービス協会「外食率と食の外部化率の推移」を基に作成

食の国際化などにより
食料の輸入率が上昇



ライフスタイルや志向に応じて、
一人一人が食事を選択

2006年
肉と魚の消費量が逆転！



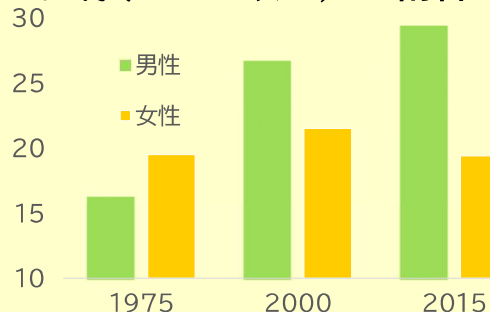
出典：「知ってる？ 日本の食料事情2022」

2000年代

男性のメタボ、女性の痩せ志向

コラム

肥満（BMI25以上）の割合



出典：厚生労働省「国民健康・栄養調査」

2011年

- 東日本大震災

2013年

- 「和食」がユネスコ無形文化遺産登録



豊かな食生活の中で、健康にも影響が出て、食生活を見直す動きにもつながったんだ。

ごはん	牛肉料理	牛乳	植物油	野菜	果実	魚介類
(1杯精白米60g)	(1食150g)		(1.5kgがトル)			
1日2.4杯	月3.4回	週に3本	年に9本	1日230g程度	1日90g程度	1日60g程度
自給可能	飼料は輸入		原料は輸入	加工品の輸入が増加		